

令和5年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：令和5年8月

学校法人長野県理容美容学園

松本理容美容専門学校

第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：令和5年8月8日（火）13：30～15：30

場所：松本理容美容専門学校 校長室

出席者：美容用品商業組合員（今井物産代表） 五味 寛雄先生
株式会社アーク代表（本校卒業生） 竹松 正弘先生
小原校長・吉川事務主事・小口教務主任・桐山事務局長

○小原校長より

今年度より新体制としての会議となります。任期は3年間。職業実践専門課程認定校としての在り方の説明。学校内容をより一層向上させるための組織である。学校内容の透明性を重視、理解して頂き（守秘義務）忌憚ないご意見を頂きたいので宜しくお願い申し上げます。

職業実践認定校としての責任を持って学生達に今まで以上に満足してもらえる学校にしていきたい。

【議題】

1.令和5年度第1回自己評価委員会報告

令和5年度中間報告として、教育理念の3項目・学校運営の3項目・教育活動の5項目・学修成果の2項目・学生支援5項目・教育環境の2項目・学生募集と受け入れ2項目・法令等の遵守2項目・社会貢献1項目について、評価4について継続的に向上した部分を報告、今まで以上により内容の濃いものにしていく必要がある。

また、評価4から評価3に下がった理由についても説明を行った。

各項目一つずつ細かく評価できていることが、次へと繋がっていくのでは。今後第三者評価という形式になった場合においても、大丈夫な体制が整っているのでは。

公平な評価を今後も継続していくべきである。

SDGSや社会貢献のむずかしさはあるが、理美容の仕事は協力できる可能性があるのでは。

（基準1）総括 コロナ禍を経て、学校生活の日常を取り戻していく。生徒一人一人に寄り添っていける教職員の協力体制を整えていく。新任教師への関りを通して、明るく前向きに改善し合える職員室の文化を育んでいく。

学校関係評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善策

- ・就職部のサポート体制が整ってきているので、信頼している。引き続き、連携していく。
- ・卒業後のキャリアプランまで構築できるよう指導していく。

（基準2）総括 新人育成に力を入れていく。

- ・通信課程理容修得者課程（1.5年制）令和6年度4月受け入れとして長野県への申請が受理された。今後、評議委員会、理事会を経て学則変更を長野県に提出して、教育センターへの手続きを進める。
- ・令和5年6月理容科新任教師1名。7月美容科新任教師1名が就任した。
- ・令和7年度生徒募集におけるオンライン出願実施に向けて、県内高校への周知と共に要望を取り入れながら進めていく。
- ・推薦入試特待生、指定校生については現状の紙の願書を使用する。それ以外となる推薦入試、一般入試、2次入試受験者がオンライン出願の対象者となる。

学校関係評価委員コメント 竹松委員より

- ・サロンとしてリクルートの難しさは理解している。新人教育として、保護者との連携を大切にしている。人間関係を重視する傾向が強くなってきている。

学校関係評価委員コメント 五味委員より

- ・雇用するにあたり、条件面・雰囲気・雇用基準重視の時代である。教員募集の求人情報を教えて頂ければ協力いくらでもします。

今後の改善策

- ・人材確保。新人教育に力を入れていく。厳しい時代であるが、生徒に寄り添える先生を育てていきたい。

(基準3) **総括** 学校の特色強化のため、在校生満足度に重点をおく。

- ・在校生の満足度を高めるため、現状の選択授業については、講師の人选、授業内容等順次見直しを図りながら進める。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・在校生の意見をきちんと聞きながら、学校運営を継続して行ってほしい。業界としてもきちんと受け入れ体制を整えていく。

学校関係評価委員コメント 五味委員より 適切に行われている。

今後の改善方策

- ・国家試験全員合格を目指し、合格につながる様、授業内容をより一層工夫していく。(予備校形式) 過去問題をベースとしていき、生徒の理解を深める指導をしていく。

(基準4) **総括** 辞めない生徒育成に力を入れていく。

- ・令和5年7月20日現在 休学者4名(BB科1年生1名、BB科2年生1名、美容科1年生1名・2年生1名) 精神面も含めた体調不良が要因となっている。美容科は通信への編入も視野に入れて、今後の対応とする。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・退学者0名について、本当に学校の努力の賜物である。先生方が全員協力しあい、学校全体でサポート体制が出来ているのは素晴らしい。

学校関係評価委員コメント 竹松委員より 適切に行われている。

今後の改善方策

- ・生徒一人ひとりを手厚く指導している学校として引き続き、誇りを持ち協力体制を強化していく。

(基準5) **総括** アフターコロナの観点から、令和5年度の授業計画、行事計画、予算計画は通常通り推進する。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・奨学金希望の生徒に対して、サロン側としても協力していきたい。実施しているサロンを参考にさせて頂き 業界を目指す大事な生徒さんたちをサポートしていきたい。

学校関係評価委員コメント 五味委員より 適切に行われている。

今後の改善方法

- ・就職活動において、目標の持たせ方が難しいが、今後より一層生徒に寄り添い、就職内定率100%にとらわれすぎずに、キャリアプランをきちんと考えさせ、自分たちでしっかりと調べさせ、考えさせる指導をしていく。
- ・学生支援においては、年々手厚くなってきている。学びやすい環境は整っている。
- ・在校生満足度に重点をおき、生徒たちを支えていける存在になるよう、前向きに改善していきたい

(基準6) **総括** 教育環境の充実を継続していく。

- ・校内の照明器具LEDへの切り替え工事を順次進めている。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・実務実習について、入客出来ないためスタッフをモデルにし、技術(美容)に触れる機会にしている。 空き時間には技術トレーニングを実施している。

→もし日数を増やすのであれば、回数を何回かに分けてもらえるとありがたい。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・サロン側として、生徒さんと出会えるチャンスが増えていく良い機会だと考える。

今後の改善方策

- ・実務実習においては、実践的な学びの場となるよう引き続き協力体制を強化していきたい。

(基準7) **総括**: 今後より一層、生徒募集が厳しくなるため、力を入れていく。

- ・生徒募集においてネット出願の受け入れ態勢の準備を令和6年度募集までに構築する準備開始している。
- ・令和5年度より実施する特待生・指定校生の入試制度変更内容について高校廻りを実施する準備を開始している。
- ・今まで以上に高校生獲得に向けて、県外流出を防ぐ手立てを強化していく必要がある。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・美容業界として、高校生への仕事の魅力を学校と一緒に伝えていきたい。学校と業界の協力体制は必須である。美容師さんたちの努力も必要である。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・中学生職場体験の重要性を理解したので、今後も継続して魅力を伝えていきたい。

今後の改善方法

- ・サロンの方からも、お客様に仕事のやりがいや楽しさを伝えていってほしい。本校の卒業生として誇りを持って活躍している姿が一番影響が大きいと感じている。
- ・伝統校として誇りを持ち、在校生満足度を軸に今後も生徒募集に力を入れていく。

(基準8) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

(基準9)

- ・通信理容修得者課程、長野県より認可認定を受け令和6年4月受け入れとして、学則変更の手続きを進める。
- ・学校関係者評価委員2名、教育課程編成委員2名の構成員の入れ替えを行った。

学校関係者評価委員 五味 寛雄 氏 (美容商組合委員)

竹松 正弘 氏 (本校卒業生)

教育課程編成委員 福盛 二郎 氏 (人財関連業社 取締役)

石田 晃教 氏 (本校卒業生)

学校関係者評価委員コメント 適切に行われている。

今後の改善方法

- ・自己評価をすることで、学校教育内容等を見直す良い機会となっているので、継続してより良い魅力ある学校にしていきたい。

(基準10) 継続して、問題なく実施できている。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より 適切に行われている。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より 訪問理美容については、今注目・必要とされている時代である。

今後の改善方法

- ・ボランティアについてはむずかしい部分もあるが、工夫しながら実施していく。少子高齢化社会において、福祉面としての働き方も求められる時代である。

2. 重点目標について（別紙1・2参照）

（1）令和5年度重点目標実施報告

中間報告として、現時点で令和5年度重点目標の実施状況の報告

- ①アフターコロナを見据えた新たな日常の構築
- ②生徒指導の充実
- ③学生募集から就職指導の一貫指導

今後、令和6年2月までに重点目標並びに課題についても、結果を出していきたい。

学校関係者評価委員コメント 竹松委員より

- ・現場の先生方は、大変だと思うが良い加減で、前を向いて頑張っていてほしい。
- ・学校の取り組みは本当に素晴らしい。継続して行ってほしい。

学校関係者評価委員コメント 五味委員より

- ・先生方の苦労や学校の雰囲気・理念に感動。今後、サロンと学校の入口を大切にし、業界全体を盛り上げていく協力は惜しまない。

今後の改善方策

- ・昨年度より質の高い学校となるよう、全職員が共通意識のもと、1つ1つを大切に考え、具体的方策を協議しながらすすめていく。
- ・コロナ渦であるが、在校生満足度を上げることを軸とし、今後も引き続き、頑張っていきたい。
- ・重点目標に沿って、評価4を質の高い内容にするべく、努力していく。

3. 次回予定

令和5年度第2回学校関係者評価委員会 令和6年2月22日（木） 13:30～